

2022年5月19日

株式会社 KADOKAWA

「ファスト映画」アップローダー3名に対し 損害賠償請求訴訟を提起

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：夏野剛、以下 KADOKAWA）は、一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）および一般社団法人日本映像ソフト協会（JVA）の会員企業12社とともに、「ファスト映画」を無断でアップロードしていた被告3名に対する損害賠償請求訴訟を本日2022年5月19日付けで東京地方裁判所に提起いたしました。

被告3名は共謀のうえ、2020年初頭～10月下旬ごろまでの間、当社が著作権を有する『犬神家の一族』（2006年公開版）をはじめ、原告13社の著作物である54作品の映画を、権利者に無断で10分程度に編集し、ナレーションをつけるなどといったいわゆる「ファスト映画」を作成、YouTubeにアップロードすることで広告収入を不当に得ていました。2021年6月23日に宮城県警察本部と塩釜警察署に逮捕され、同年11月16日にそれぞれ有罪判決を受け、同判決は確定しております。

裁判の中で被告3名は複数のYouTubeチャンネルを運営していたことを認めており、本事案で対象とされた54作品の「ファスト映画」の再生数は合計約1,000万回に上ります。当社を含めた原告13社は、これによる損害額について20億円相当であるものと算定し、今回の訴訟で、この損害回復を求めて5億円を一部請求いたしました。

近年の「ファスト映画」による権利侵害被害は深刻であり、2021年6月14日に実施されたCODAの調査によると、55のチャンネルから約2,100本の「ファスト映画」が公開され、その視聴回数は4億7,700万回以上になります。今回の損害賠償請求訴訟を提起することで、本事案における権利者の損害回復に加え、現状継続している他サイトの根絶、及び同様の犯罪の再発抑止を目指してまいります。

当社は、映像、出版、ゲームなどを手掛ける総合エンターテインメント企業として、映画はもとより様々な著作物に対する著作権侵害行為についても、断固たる対応を取り、また著作権保護に対する啓蒙活動を推進しております。今後も利用者がコンテンツから享受する楽しみを守り、不正な行為を行う者から権利及びクリエイターをはじめとする権利者の経済的利益を保護するとともに、国際的に評価の高い日本のコンテンツを創出する環境や産業としての競争力を維持・強化し、文化の普及と発展に持続的に貢献してまいります。

【参加企業13社（50音順）】

アスミック・エース株式会社 / 株式会社 KADOKAWA / ギャガ株式会社 /
松竹株式会社 / 株式会社 TBS テレビ / 東映株式会社 / 東映ビデオ株式会社 /
東宝株式会社 / 日活株式会社 / 日本テレビ放送網株式会社 /
株式会社ハピネットファントム・スタジオ / 株式会社フジテレビジョン /
株式会社 WOWOW

【対象 54 作品 (50 音順)】

アイアムアヒーロー / アオハライド / 悪の教典 / 犬神家の一族(2006) / 犬と私の 10 の約束 / ウルルの森の物語 A Tale of Ululu's Wonderful Forest / 映画 ホタルノヒカリ / エイプリルフールズ / おくりびと / 俺物語!! / 葛城事件 / 神さまの言うとおり / かもめ食堂 / 感染列島 / 君の膵臓をたべたい / 凶悪 / 桐島、部活やめるってよ / 九月の恋と出会うまで / 恋は雨上がりのように / 告白 / 孤高のメス / こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話 / サバイバルファミリー / 散歩する侵略者 / 謝罪の王様 / シン・ゴジラ / ステキな金縛り / スマホを落としただけなのに / 3D 彼女 リアルガール / それでもボクはやってない / 太平洋の奇跡 - フォックスと呼ばれた男 - / ツナグ / 冷たい熱帯魚 / 帝一の國 / デスノート、デスノート the Last name / 東京喰種 トーキョーグール / 22 年目の告白-私が殺人犯です- / 本格科学冒険映画 20 世紀少年 第 1 章 終わりの始まり / 日本で一番悪い奴ら / 花宵道中 / 火花 / 百円の恋 / ビリギャル / ブタがいた教室 / 蛇にピアス / ヘルタースケルター / ぼくは明日、昨日のきみとデートする / 真夏の方程式 / ミックス。 / モテキ / 八日目の蝉 / 容疑者 X の献身 / 私の男 / 藁の楯

■一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構 (CODA) について

音楽、映画、アニメ、放送番組、ゲームなどの日本のコンテンツ産業の海外展開を促進すること、日本のコンテンツ産業が協力して海外における海賊版対策を実行することを目的に設立された団体です。CODA では、日本コンテンツの海外における正規流通の阻害要因となっている海賊版問題を喫緊の課題としてとらえ、情報の収集分析、産業界における情報の共有及び効果的な解決策の検討、解決策の一つである共同エンフォースメント等を、主な事業として実施しています。

<http://www.coda-cj.jp/>

■一般社団法人日本映像ソフト協会 (JVA) について

映像ソフトに関する調査及び研究、規格・基準の策定、倫理基準の策定等を行うことにより、映像ソフトの普及向上並びに映像ソフト事業及びその関連産業の振興を図り、もって国民生活の向上と我が国の産業経済、文化の発展に寄与することを目的として設立された団体です。

<https://www.jva-net.or.jp/>

■株式会社 KADOKAWA について

出版、映像、ゲーム、Web サービス、教育、MD、施設における IP 体験などの幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業です。働き方改革 (ABW=Activity Based Working) を含めたデジタルトランスフォーメーションの推進により、優れた IP (Intellectual Property) を安定的に創出し、様々な形で世界に届ける「グローバル・メディアミックス」戦略を実践しております。

<https://group.kadokawa.co.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社 KADOKAWA グループ経営企画局 広報部

E-mail : pr-dept@kadokawa.jp